シムコジャパン株式会社

会社説明

シムコジャパン株式会社は、静電気制御の分野において世界最大規模のネットワークを持つ「シムコ・イオン（Simco-Ion）」グループの日本拠点です。1977年に米国シムコ社と日本の株式会社光陽社の合弁として設立され、現在は米国を本拠地とする世界的工業製品メーカー、ITW（Illinois Tool Works Inc.）の100%出資子会社として、盤石な経営基盤を有しています。

同社の主軸事業は、目に見えない「静電気」が引き起こす様々な産業トラブルを解決することです。静電気は、精密機器の製造過程におけるホコリの付着、電子部品の破壊（静電破壊）、フィルムやプラスチックの貼り付き、さらには放電による火災リスクなど、製造現場の歩留まりや安全性に多大な影響を及ぼします。シムコジャパンは、これらの課題に対し、最新のイオナイザ（静電気除去装置）や静電気測定器、帯電装置を提供することで、製造プロセスの最適化を実現しています。

強みの一つは、グローバルな知見とローカルな技術力の融合です。ITWグループの一員として世界中の最新技術にアクセスできる一方で、神戸の本社工場を中心に、日本の顧客の細かなニーズに合わせたカスタマイズや迅速なアフターサポートを提供できる体制を整えています。対象となる業界は、半導体や液晶パネルといった最先端ハイテク産業から、自動車、食品包装、印刷、さらには高度なクリーン環境が求められる医療・薬品分野まで多岐にわたります。

また、同社は単なる機器販売にとどまらず、現場の静電気の状態を正確に把握するための測定・診断・コンサルティングを重視しています。目に見えない現象を数値化し、最適な対策を提案する「問題解決型」のアプローチは、顧客から高い信頼を得ており、国内の主要な製造メーカーの多くを取引先に持っています。

近年では、環境方針に基づいた製品開発や、製造業の自動化・高度化に伴う新しい静電気対策ニーズへの対応を強化しています。グローバル企業ならではの自由でフラットな社風と、日本企業の丁寧なものづくり精神を併せ持つ同社は、今後も産業界の発展を支える「黒子」として、静電気制御技術の限界を押し広げていく存在といえるでしょう。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
静電気除去装置（イオナイザ）、静電気測定器、静電気帯電装置、導電性製品の製造・販売・輸出入

代表取締役
森本 修司

設立年
1977年1月12日

資本金
3,000万円

従業員数
101 - 500人

URL
http://www.simcoion.jp/

オフィス情報

メインオフィス
〒6500046
兵庫県 神戸市中央区 港島中町1-2-4